

# 宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年2月20日発行)

## 1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。\*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病	疫学週				
	4週	5週	6週	7週	
	1月19日 ~ 1月25日	1月26日 ~ 2月1日	2月2日 ~ 2月8日	2月9日 ~ 2月15日	
急性呼吸器感染症(ARI) インフルエンザ* 新型コロナウイルス感染症*	594 118.80	805 161.00	867 173.40	904 180.80	
	88 17.60	240 48.00	295 59.00	263 52.60	
	13 2.60	22 4.40	31 6.20	30 6.00	
小児科定点	RSウイルス感染症*	2 0.67	2 0.67		
	咽頭結膜熱*	1 0.33	1 0.33	1 0.33	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	8 2.67	11 3.67	9 3.00	9 3.00
	感染性胃腸炎	11 3.67	16 5.33	15 5.00	21 7.00
	水痘	5 1.67			
	手足口病				
	伝染性紅斑	1 0.33			
	突発性発しん	2 0.67	3 1.00	1 0.33	2 0.67
	ヘルパンギーナ*				
	流行性耳下腺炎			1 0.33	
眼科定点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎			3 3.00	
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎		2 2.00		
無菌性髄膜炎					
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	5	2	
	川崎病	1			
	不明発疹症				

大崎保健所管内定点数: 内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

## 2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	○	—
備考	インフルエンザ・ 新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症	

### 【施設職員の皆様へ】

- 保健所では管内施設等を対象に感染症予防啓発物品(手洗いチェッカー、CO2センサー)の貸出を行っています。
- 施設の感染対策として活用ください。



## 3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

### 【全数報告疾病】※栗原支所管内

- 2類:結核 男性1名
- 3類:腸管出血性大腸菌感染症 男性1名

### 【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- インフルエンザの患者報告数が高い水準で推移しています。予防のために、石鹸を用いた手洗いを行いましょう。また、換気や加湿(湿度約50~60%)、咳エチケット、アルコールによる消毒も有効です。
- 県内全域で感染性胃腸炎の患者報告数が増加しています。保育・高齢者施設等の集団発生事例、調理従事者由来の食中毒事例の報告があり、患者からはノロウイルスが検出されています。ノロウイルスは次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効です。次亜塩素酸水は名前が似ていますが、別物です。御注意ください。

### 【集団発生状況】※栗原支所管内

- 保育施設でインフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症、高齢者施設で新型コロナウイルス感染症の集団発生がありました。

### 【お知らせ】

#### 3月24日は世界結核デー

- 1882年3月24日に細菌学者ロベルト・コッホが結核菌の発見を発表し、WHO(世界保健機関)は、結核問題の重要性を警告し、結核対策の強化の必要性を訴えるため、この日を「世界結核デー」と決めました。
- この日は、世界各地で結核の予防に関する啓発活動が行われます。

### 【感染症コラム~侵襲性肺炎球菌感染症~】

- 肺炎球菌を原因とする感染症で、本来無菌的な血液や髄液等から検出されたものを指します。髄膜炎、菌血症を伴う肺炎や敗血症等が特に問題とされており、小児及び高齢者を中心に患者報告があります。
- 主な感染経路は飛沫感染で、約1~3日の潜伏期間を経て、急な発熱や咳、膿性痰を伴う肺炎を起こします。髄膜炎が生じると頭痛や痙攣等が出現します。小児では肺炎を伴わない菌血症や髄膜炎を呈し、成人では主に肺炎を呈します。
- 治療は抗菌薬により行われます。
- 感染予防として、手指衛生・咳エチケットに加え、肺炎球菌ワクチンの接種が有効です。
- 乳幼児には5歳になるまでの期間に年齢に応じて最多4回の肺炎球菌ワクチンがあります。0歳児のリスクが高いため、なるべく早期かつ計画的に済ませることをお勧めします。
- また、高齢者は小児と種類の異なるワクチンで、①65歳以上の方、②60~64歳で一定の基礎疾患がある方は、定期接種の対象となります。栗原市では該当者に対して接種費用の助成を行っています。詳細は、以下栗原市ホームページ「高齢者肺炎球菌予防接種を受けましょう」を御参照ください。  
<https://www.kuriharacity.jp/w016/020/020/010/010/040/34775.html>

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班  
☎0228-22-2117 📠0228-22-7594